

# 気づいた消費者はもう始めている、 FSC®マークの商品選び。



責任ある森林管理  
のマーク

森を守りながら森林資源の利用を続けることができるよう、世界で共有できる厳格な基準を定めている「FSC® Forest Stewardship Council® (森林管理協議会)」。その基準を守った製品のみが、使用を許されるFSC®マークの仕組みと意義。そして日本の家庭紙市場における、FSC®のこれからについて語り合いました。



左 王子ネピア 社長  
清水 紀暁

中 WWFジャパン 事務局長  
筒井 隆司氏

右 FSCジャパン 事務局長  
前澤 英士氏

## ネピアでは2011年から 業界に先駆けてFSC®認証紙を採用

**清水:**王子ネピアは、3つの品質でナンバーワンを目指すという目標を掲げています。1つは使いごちのよいものをつくる「生活品質」、2つ目は「社会品質」で、代表的なのはユニセフさんとのタイアップで行っている、水と衛生の「千のトイレプロジェクト」です。そして3つ目の「環境品質」の柱がFSC®マークです。当社では2011年から、業界に先駆けて、FSC®認証紙を主要製品に採用しております。森林を守り、環境と共生することは王子ホールディングスの経営理念であり、メーカーの社会的責任と考えてきました。

**前澤:**FSC®は木材を生産する世界の森林と、木材の流通・加工過程を認証する国際機関です。森林が存在し続け継続して森林資源を配給できるか、野生生物が息を絶つ環境を守る森林

かどうか、地域社会の暮らしや経済に貢献する森林になっているか、など多様な視点からチェックし、認証するのがFSC®マークです。従ってかなり厳しい認証システムといえます。現在、世界80カ国に広く普及しています。**清水:**「環境」「社会」「経済」の3つの角度から考える、素晴らしい仕組みですね。



WWFの機関誌で王子グループのFSC®への取り組みが紹介されました。

## 世界の森林資源を守り 野生生物、住民に豊かな森を

**筒井:**WWFも、自然と人類の調和を訴え、世界の森林保全に取り組んでいますが、FSC®の認証基準は厳格ですね。世界の森林を歩いておると、たとえその国の基準では合法的な伐採であっても、結果的に全く木がない状態になっているところがあります。これでは森

の持続的な活用ができませんし、地域の利益にもつながりません。環境問題は、社会問題抜きには改善を図れません。地域の人々が生活できるように初めて、環境に理解を示す余裕ができる。FSC®はこうした視点も、重視した信頼できる認証制度と考えています。

## 日本ではまだまだ認知度が低いFSC®マーク しかし知れば9割が評価の声

**清水:**王子グループは、FSC®認証制度に積極的に取り組んでまいりました。グループ全体のFSC®認証材、その約半分の量を、家庭紙メーカーであるネピアが優先的に使用してい

ます。グループ内の売り上げシェアから考えると、大変な比率です。**前澤:**企業イメージアップのために、パンフレットや名刺の紙として、FSC®認証紙を使用する

企業などは確実に増えてきていますが、日々大量に消費される家庭紙にFSC®認証材を使用されている王子グループさんの姿勢は、本当に評価に値すると思います。

**清水:**はい、「ネピアクオリティ」の精神で頑張っています。新製品のネピアプレミアムソフトティッシュでは、パルプの配合や抄紙の工程か

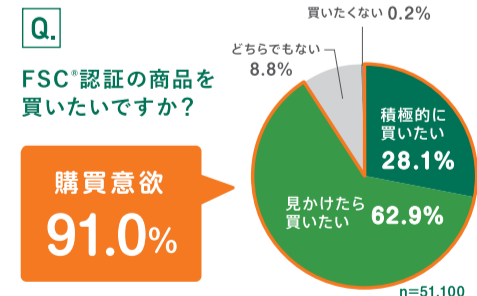
ら工夫を重ね、ついに、本当に誇れる品質にたどり着きました。FSC®マークの商品が、使いごちも素晴らしければ、この制度の評価にもつながると思います。しかし、FSC®制度の日本での認知度はまだまだ低いですね。私どもが調べた限りでは、実質数パーセントでした。海外ではかなり浸透しているようですね。

## 欧米では50%を超える認知度 長年の普及活動の成果

**筒井:**欧米での認知度は日本よりかなり高く、ドイツやイギリスでは70%ほどです。どの店でもFSC®マークの付いた商品が買えるという状態です。FSC®の認知度が高い国に行くと、消費者はもちろんですが、流通の方の理解が非常に進んでいます。FSC®の意義を伝えるキャンペーンがかなり長い間行われた結果だと思っています。日本でも同じことをやれば、FSC®の認知度は上がるはずで、これが私たちの務めだと考えています。

**清水:**先ほどの調査でも、FSC®の意味や意義を説明すると、「FSC®の製品を買うことで森林保全に協力できるのは嬉しい」「今後はこのマークの付いた製品を選びたい」という積極的な意見が9割以上です。この3年で30

万人のご意見が寄せられました。**前澤:**私たちも様々な方法でFSC®の普及に努めています。そのひとつ「FSC®フォレストウィーク」では、メーカーさんはもちろんですが、小売企業さんの参加意欲が高まってきています。環境配慮の姿勢を打ち出すことが、消費者の共感を呼ぶのです。



## メーカーと流通の二人三脚で FSC®を消費の新たな選択基準に

**筒井:**FSC®商品を扱うことで小売店にもメリットがあることを知ってほしいですね。

**前澤:**FSC®への認知が広がり、選択してもらうことで、世界の森林がより守られます。王子ネピアさんのように先駆的に取り組んでおられるメーカーさんの存在は貴重です。流通、

一般消費者に認知を広げたいですね。**筒井:**私たちも持てる力を全部使って、応援させていただければと考えております。**清水:**FSC®が卸企業さん、小売企業さん、消費者にも広く認知されるようになり、新たな選択基準の1つになればと考えています。

## ご存知ですか？FSC®認証のしくみ。

FSC®認証制度は、大切な自然を守るために、ちゃんと森林や木材を管理しているかどうかをチェックする制度です。「環境保全」「社会的利益」「経済的継続性」の観点から、10の原則と56の基準による厳しい審査がある、世界でもっとも広く認められている森林認証制度のひとつです。



※詳しくはネピアのホームページをご覧ください。

## ネピアの主要商品はFSC®認証紙。

ネピアでは2011年から、業界に先駆けて主要商品にFSC®認証紙を採用。どこにも負けない「環境品質」を目指し、環境保全に配慮した商品づくりを続けています。



森を守る紙をえらぼう。  
ネピアはFSC®



## 森を守るマークを選ぼう ～森林破壊に加担しないために～

WWFジャパン 自然保護室  
古澤 千明氏



世界では今もまだ紙をつくるための森林破壊が続いている地域があります。豊かな自然の森が破壊されることは、地球温暖化や、ゾウやトラなど希少な野生生物がすみかを奪われるといった問題だけではなく、多くの問題につながります。例えば、広大な土地を長期にわたって植林地として使用するため、地域住民との対立が生まれる、そんなことも実際に起きています。森を守るマーク、FSC®は、紙製品を取り扱う企業や最終的に紙製品を使う消費者がそういった問題に、知らず知らずのうちに加担してしまわないようにするための大切なマークです。海外ではすでに多くの企業と消費者に選ばれているFSC®。特に欧米では、付いていて当たり前といっているほど普及しています。今、日本でも、より多くの消費者が環境の変化に気づき始め、生活のなかで選んでいるものの由来に関心を持ち始めています。日々の暮らしに欠かせない紙製品だからこそ、安心して使えるものを選びたい。そう思う消費者は、確実に増えているのではないのでしょうか。

Caution

WWF 森林保全と紙利用

検索

プランテーション開発による影響：  
周辺国をも襲うインドネシアからの煙害  
2015.11.05 WWFニュースリリース



日本にも多く輸入される紙製品  
その背景にあるもの  
2015.12.01 WWFニュースリリース

アンケート  
大分析

## 消費者 30万人の声から読みとる FSC®共感キーワード。

※当社ホームページ上で行った消費者アンケートに寄せられた、メッセージ30万件を分析しました。



2011年のFSC®認証紙採用以来、ネピアではホームページ上で消費者の声を傾聴し続けてきた結果、これまでに寄せられたFSC®支持の声は30万件を超えました。今回、いただいた自由回答のメッセージを分析した結果、数々のキーワードが浮かび上がってき

ました。最も多いのは「賞賛」の声。そして「自然環境」を気づかう声、「取組の継続や拡大」を望む声でした。ネピアは、こうしたお客さまの声を励みに、「ネピアクオリティ・3つの品質」の姿勢を貫き、FSC®認証紙を使用した良質な商品をご提供し続けていきます。

## ネピアFSC®フェアでご拡販をバックアップ!

**ネピアFSC®フェア 2016年4月～9月**

なるほど! FSC® クイズに答えてプレゼント

やさらかハートポイントで 毎月毎月毎月プレゼント

スマホ・PCから今すぐアクセス ▶ [www.nepia.co.jp/fsc](http://www.nepia.co.jp/fsc) **ネピアFSC** 検索

※QRコードはダミーです。サイトのオープンは4月を予定しております。

ネピアは、3つの品質でNo.1を目指します。



生活品質

環境品質

社会品質